

報道関係各位

京セラメディカルと吸収性骨接合材の販売で提携 ～整形外科分野での販売を拡大～

グンゼ株式会社(本社:大阪市北区、社長:児玉 和・こだま のどか)は、京セラメディカル株式会社(本社:大阪市淀川区、社長:梶島 登士巳・げじま としみ)と、吸収性骨接合材「グランドフィックス®」の販売で業務提携しました。4 月 1 日より京セラメディカルを通じて整形外科領域に販売します。

グンゼの吸収性骨接合材「グランドフィックス®」は頭蓋顎顔面(ずがいがくがんめん)用プレート・ミニスクリュー、胸骨・肋骨(きょうこつ・ろっこつ)用ピンなどを揃え、脳神経外科、形成外科、口腔外科、胸部外科など幅広い領域で使用されています。

高い生体親和性を有する人工関節を主力商品とし、整形外科に強い販路を持つ京セラメディカルと、当社の吸収性骨接合材を組み合わせることで、同領域での販売拡大を目指します。



グンゼの吸収性骨接合材(スクリュー、ワッシャー、ピン)

吸収性骨接合材とは

骨接合術や骨移植術などに使用される医療機器です。治癒後は徐々に生体内で吸収されるため、除去のための再手術が不要です。

グンゼでは PLLA(ポリ-L-乳酸)を材料とした合成吸収性骨片接合材料を、1994 年より「ネオフィックス®」として販売開始し 20 年の実績があり、丸ピン、角ピン、スクリュー、プレートなどの種類を取り揃えています。手術後、加水分解により強度が徐々に失われ体内に吸収されますが、骨癒合に必要な 3 ヶ月間は生体骨と同等の強度を有しています。

グンゼのメディカル事業部では、「吸収性骨接合材」をはじめ、縫合糸、縫合補強材、真皮欠損用グラフトなど生体吸収性に着目して豊富な医療機器を展開しています。さらに人工血管など再生医療への参入も視野に研究、製品開発を進めています。

グンゼはメディカル製品などを通して、患者様のクオリティオブライフ(QOL)の向上への貢献を目指しています。

＜参考：両社の概要＞

グンゼ株式会社

設 立：1896 年
本 社：大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA オフィスタワー
代表者：代表取締役社長 児玉 和
資本金：261 億円
売上高：1,424 億円(2014 年 3 月連結)
事業内容：インナーウェア、レッグウェア、パジャマ、ミシン系の製造販売
プラスチックフィルム、電子部品、エンジニアリングプラスチック、メディカル材料の製造販売
不動産賃貸業、商業デベロッパー業、スポーツジム運営、緑化事業等

京セラメディカル株式会社

設 立：2004 年
本 社：大阪市淀川区宮原 3-3-31(上村ニッセイビル)
代表者：代表取締役社長 梶島 登士巳
資本金：25 億円
売上高：非公表
事業内容：医療機器の設計・開発・製造・販売、および総合医療材料メーカーとしてのその他の事業

以上

本件に関するお問合せ先

報道関係の方からのお問い合わせ

広報IR室

TEL:06-6348-1314 (担当/渡辺)

お客様からのお問い合わせ

メディカル事業部

TEL:03-3276-8718 (担当/大上、丸下)

■GUNZEホームページ <http://www.gunze.co.jp/>

■メディカル事業ページ <http://www.gunze.co.jp/medical/>